



議長 伊藤 毅

明けましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

低迷を続けてきた景気もようやく上向きに転じてきたという報道がなされている昨今ですが、地方に暮らす私たちにはその実感がなく、有効求人倍率や失業者数、今春の高卒予定就職希望者の内定率を見ても依然として厳しい状況が続いています。同様に地方財政を取り巻く環境にも大変厳しいものがあり、より効率的な行財政運営が求められています。

こうした中、本市においては、誘致企業による地元雇用が着実に増加しており、新たな企業の進出や事業の拡大によるさらなる雇用の創出には心強く、大いに期待するものです。また、昨年は、建設予定地で論議を呼んだPFI方式によるごみ焼却施設の建設がいよいよ動き出し、市立総合病院増改築事業は実施設計に着手し、中高一貫教育校の造成工事も始まるなど、懸案事項が具体化した節目の年でした。

新たな年も、合併問題をはじめ、日本海沿岸東北自動車道（大館・小坂間）の建設問題、少子・高齢化対策、中心市街地活性化方策、リサイクル産業のさらなる推進、農林業や商工業などの既存産業の振興など課題が山積していますが、執行機関と一丸となって問題解決に取り組むとともに、市民生活に密着した要望には最大限配慮しながら、住みよい大館の実現に努める決意を新たにしているところです。

「希望を天の星につなげ」という私の好きな言葉があります。高い理想を掲げるという意味です。私たちはともすれば日常の小事にかまけて下ばかりを見つめ、マンネリに陥りがちです。確かに、目先の確実さ・安定さも重要ではありますが、今のこのような社会状況だからこそ、それらに左右されない本来の姿・目的を見失わない心構えが必要であり、特に我々議員に求められていると思います。地方分権が進む中、自己決定・自己責任のもと、市民に信頼される議会を確立するため、真に自立した大館市実現のため頑張りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

おめでとうございます